

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Grow up 八代			
○保護者評価実施期間	2026年 6月 1日 ～ 2026年 6月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2026年 6月 1日 ～ 2026年 6月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	健康となる3要素の栄養、運動、休養を考えて選択活動及び活動に食の育、連の育、心の育の3つの育をバランスよく取り入れている。活動において静と動のバランスの取れたプログラムを話し合い行っている。	週に何回かおやつを手作りおやつで行っている。 落ち着きがない場合は、座って姿勢を整えるような活動内容を取り入れている。	地域の他の子どもたちと活動する機会を増やしていく。 時計の針がどこに来たら切り替えをするのか伝える。
2	活動の写龍や年間4回以上のイベントでグローアップ他施設との交流を行っている。 子供たちの個々の能力に対して細やかな対応をしている。	子どもの能力に合わせて支援員の準備の仕方を変えている。	何か良いアイデアは無いか他の支援員にも密に相談する。
3	支援員同士が程よく仲が良い。	指摘するのではなく、フォローし合う、声かけ・伝え方をお互いに行っている。	活動後の振り返りは皆で意見を交わす。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	出入口付近の危険が伴う場合があるので注意している。	元気の反面落ち着きのない子が多い。	支援員が必ず出入口に配置する。 行動のメリハリをつけるため、ストップウォッチを使う。
2	トイレが1か所である	大家様と検討中	大家様と兼用で使うトイレを検討中
3	年齢の高い子が小さい子の声かけをし、子ども同士の関わりも支援員が促し流れを作る。		子供たちにも支援員が名前を呼ぶまで立たない、勝手に行かないように伝えていく。